

農業労賃等標準額を改定

平成31年度の町農業労賃等標準額が右表のとおり決まりました。適用期間は4月1日から来年3月31日までです。次の留意事項も併せてご確認ください。

▶留意事項 ▶人力の部の実働時間が1日8時間を越えた場合、1時間単位で超過額を加算▶畑作業（人力の部）のパート作業は1時間当たり700円▶機械の部の標準額には全てオペレータ賃金と燃料代を含む▶湿田の耕起、刈り取り脱穀（コンバイン）は、10㍊当たり1100円増し▶刈り取り結束の結束用縄代は委託者負担▶もみの運搬費用は、10㍊当たり1100円▶牧草ラッピングは、ラップフィルム代を含む▶5㍊未満の代かきは、1割増し▶牧草こん包（ロールペーラ）の基準は1㍊×1㍊▶標準額には消費税および地方消費税は含まれていない▶農地の地理的条件や作業条件による増減額は、受託者と委託者の協議し決める▶その他詳細は両者の話し合いで決める

農地の権利を取得する際は相談を

町では、農地の権利を取得する際に必要な面積の下限を、10㍊以上（権利を取得する者またはその世帯員がすでに耕作している農地と、新たに権利を取得する農地を合計した面積）と定めています。農地を取得する際の要件など、詳細はお問い合わせください。

◆問い合わせ 町農業委員会事務局（☎82-3111内線217）へどうぞ。

◆人力の部

種別	金額	標準額 (1日8時間)	超過額 (1時間当たり)
水田作業		6100円	960円
畑作業		6100円	960円

※実働時間が1日8時間を越えた場合は、1時間単位で超過額を加える。また、8時間未満の場合の1時間当たりの金額は、770円とする。

◆機械の部

種別	使用機械・区分	単位	標準額	
水田	耕起	耕運機およびトラクター	10㍊ 6100円	
	代かき	〃	〃 6900円	
	くろぬり	くろぬり機	1㍊ 60円	
	田植え	田植機	10㍊ 6600円	
	刈り取り結束	バインダー	〃 7400円	
	作業	刈り取り脱穀	コンバイン	5㍊未満 1㍊ 1710円
				10㍊未満 〃 1610円
				10㍊以上 〃 1510円
		乾燥	乾燥機	10㍊ 7600円
	脱穀	全自動脱穀機	1時間 4100円	
畑	転作田草刈り	特に設定なし	10㍊ 5100円	
	全般	耕運機およびトラクター	〃 5900円	
	大豆刈り取り	汎用コンバイン	〃 12100円	
	種まき	コーンプランター	〃 3100円	
	刈り取り	コーンハーベスター	〃 9100円	
	牧草こん包	ロールペーラ	1個 1600円	
	牧草ラッピング	ラッピングマシン	〃 1600円	
	共通	たい肥散布	マニユアスプレッター	10㍊ 3200円
		たい肥散布	噴霧器	10㍊ 1100円
		薬剤散布 (薬剤別途)	ブームスプレーヤー	10㍊ 1500円



開所した民間交番「やまだ地域安全センター」

◆問い合わせ 町町民課 生活安全チーム（☎82-3111内線125）へどうぞ。

県内唯一の民間交番となるやまだ地域安全センター。地域の安心安全を守る拠点として、今後活用されていきます。

国道45号沿いの陸中山田駅付近に、民間交番「やまだ地域安全センター」が開所しました。管理運営するのは、町防犯協会（伊藤進一会長）で、人は常駐しませんが、防犯隊の定期パトロールや交通指導隊の事故防止啓発活動の際の集会所などに使われます。そのほか、子どもの見守りや交通安全に関わるボランティア団体も利用することが

でき、警察官の立ち寄り所としても活用される予定となっています。

震災後、山田交番が高台に移転。今回開所した民間交番は、駅付近の新たな防犯拠点として、防犯意識の醸成への効果が期待されます。

3月18日に行われた開所式には関係者ら約60人が出席。開所に係る建物の設置費用を寄贈・寄付いただいた各種団体の代表者へ伊藤会長から感謝状が贈呈されました。式の最後には、防犯隊の大石秀男隊長と交通指導隊の佐々木正彦隊長がそれぞれ決意表明を行い、さらなる防犯活動の推進と、事故防止の徹底を誓いました。

地域を守る拠点へ期待 民間交番が開所